平成28年旭市議会第3回定例会会議録

議事日程（第1号）

平成28年9月1日（木曜日）午前10時開会

- 第 1 開 会
- 第 2 議長報告事項
- 第 3 会議録署名議員の指名
- 第 4 会期の決定
- 第 5 議案上程
- 第 6 提案理由の説明並びに政務報告
- 第 7 議案の補足説明及び報告の説明

本日の会議に付した事件

- 日程第 1 開 会
- 日程第 2 議長報告事項
- 日程第 3 会議録署名議員の指名
- 日程第 4 会期の決定
- 日程第 5 議案上程
- 日程第 6 提案理由の説明並びに政務報告
- 日程第 7 議案の補足説明及び報告の説明

出席議員（22名）

1 番	林 晴 道	2 番	高 橋 秀 典
3 番	米 本 弥一郎	4 番	有 田 恵 子
5 番	宮 内 保	6 番	磯 本 繁
7 番	飯 嶋 正 利	8 番	宮 澤 芳 雄
9 番	太 田 將 範	10 番	伊 藤 保
11 番	島 田 和 雄	12 番	平 野 忠 作
13 番	伊 藤 房 代	14 番	林 七 巳

15番 向後悦世
17番 滑川公英
19番 佐久間茂樹
21番 高橋利彦

16番 景山岩三郎
18番 木内欽市
20番 林俊介
22番 林正一郎

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

市長	明智忠直	副市長	加瀬寿一
教育長	笈田哲雄	代表監査委員	木村哲三
秘書広報課長	飯島茂	行政改革推進課長	浪川昭
総務課長	加瀬正彦	企画政策課長	横山秀喜
財政課長	伊藤憲治	税務課長	渡邊満
市民生活課長	大木廣巳	環境課長	井上保巳
保険年金課長	高木松夫	健康管理課長	浪川勝子
社会福祉課長	岩井正和	子育て支援課長	大矢淳
高齢者福祉課長	宮内隆	商工観光課長	向後嘉弘
農水産課長	宮負賢治	建設課長	加瀬喜弘
都市整備課長	川口裕司	下水道課長	高野和彦
会計管理者	島田知子	消防長	品村順一
水道課長	加瀬宏之	庶務課長	角田和夫
学校教育課長	石見孝男	生涯学習課長	高木昭治
体育振興課長	加瀬英志	監査委員局長	高安一範
農業委員会事務局長	相澤薫		

事務局職員出席者

事務局長	阿曾博通	事務局次長	花澤義広
------	------	-------	------

開会 午前10時 0分

○議長（平野忠作） おはようございます。

ここで、会議を開会する前に、あらかじめご了解をお願いいたします。

市の広報及び報道関係者の取材のため、この後、本議場内の写真撮影を行いますので、ご了解をいただきたいと思います。

◎日程第1 開 会

○議長（平野忠作） ただいまの出席議員は22名、議会は成立いたしました。

これより平成28年旭市議会第3回定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

◎日程第2 議長報告事項

○議長（平野忠作） 日程第2、議長報告事項。

議長の報告事項を申し上げます。

お配りいたしました印刷物により、ご了承いただきたいと思います。

◎日程第3 会議録署名議員の指名

○議長（平野忠作） 日程第3、会議録署名議員の指名。

会議録署名議員の指名を行います。

8番、宮澤芳雄議員、9番、太田将範議員、以上の2議員を指名いたします。

◎日程第4 会期の決定

○議長（平野忠作） 日程第4、会期の決定。

会期の決定を議題といたします。

おはかりいたします。本定例会の会期は、本日から9月23日までの23日間といたしたいと思いを。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（平野忠作） ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日から9月23日までの23日間と決しました。

なお、お配りいたしました日程表により会議の運営を図りたいと思いを。ご協力を願いをいたします。

○議長（平野忠作） 市長より送付を受けております議案は、議案第1号から議案第14号までの14議案と、報告第1号から報告第6号までの報告6件であります。

配付漏れはありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（平野忠作） 配付漏れないものと認めます。

議案等説明のため、市長、副市長、教育長ほか関係課長等の出席を求めました。

◎日程第5 議案上程

○議長（平野忠作） 日程第5、議案上程。

議案第1号から議案第14号までの14議案と報告第1号から報告第6号までの報告6件を一括上程いたします。

議案第 1号 平成27年度旭市一般会計決算の認定について

議案第 2号 平成27年度旭市国民健康保険事業特別会計決算の認定について

議案第 3号 平成27年度旭市後期高齢者医療特別会計決算の認定について

- 議案第 4号 平成27年度旭市介護保険事業特別会計決算の認定について
- 議案第 5号 平成27年度旭市下水道事業特別会計決算の認定について
- 議案第 6号 平成27年度旭市農業集落排水事業特別会計決算の認定について
- 議案第 7号 平成27年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- 議案第 8号 平成27年度旭市病院事業会計決算の認定について
- 議案第 9号 平成28年度旭市一般会計補正予算の議決について
- 議案第10号 旭市使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第11号 財産の取得について（消防ポンプ自動車（CD-I型） 1台）
- 議案第12号 財産の取得について（小型動力ポンプ付積載車 3台）
- 議案第13号 和解及び損害賠償の額を定めることについて
- 議案第14号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
- 報告第 1号 平成27年度旭市奨学基金の運用状況について
- 報告第 2号 平成27年度旭市高額療養費貸付基金の運用状況について
- 報告第 3号 平成27年度決算に基づく旭市の健全化判断比率について
- 報告第 4号 平成27年度の旭市公営企業決算における資金不足比率について
- 報告第 5号 株式会社季楽里あさひの事業経営状況について
- 報告第 6号 私債権等の放棄について

◎日程第6 提案理由の説明並びに政務報告

○議長（平野忠作） 日程第6、提案理由の説明並びに政務報告。

提案理由の説明並びに政務報告を求めます。

明智市長、ご登壇願います。

（市長 明智忠直 登壇）

○市長（明智忠直） おはようございます。

まず最初に、今回の台風10号によりまして、岩手県、北海道をはじめ、多くの地域が被害に遭われました。そしてまた、亡くなられた方も大変多いようであります。私どもも被害を受けた被災地の一地区として、本当に心からその被害を受けた地域にお見舞いを申し上げたいと思います。

本日、ここに平成28年旭市議会第3回定例会を招集し、当面する諸案件についてご審議を願うことといたしました。

初めに、本議会に提案いたしました各議案の提案理由を申し上げます。

議案第1号から議案第8号までは、平成27年度各会計の決算の認定についてでありまして、それぞれ監査委員の意見を付して議会の認定を求めるものであります。

議案第1号は、平成27年度旭市一般会計決算でありまして、歳入総額314億4,578万7,446円、歳出総額286億3,807万5,175円となり、翌年度へ繰り越すべき財源3億4,175万6,080円を差し引いた実質収支は、24億6,595万6,191円となりました。

議案第2号は、平成27年度旭市国民健康保険事業特別会計決算でありまして、事業勘定は、歳入総額108億6,692万6,870円、歳出総額106億5,502万4,061円、差し引き2億1,190万2,809円となりました。施設勘定は、歳入総額8,750万334円、歳出総額8,291万1,776円、差し引き458万8,558円となりました。

議案第3号は、平成27年度旭市後期高齢者医療特別会計決算でありまして、歳入総額5億1,724万6,158円、歳出総額5億131万1,270円、差し引き1,593万4,888円となりました。

議案第4号は、平成27年度旭市介護保険事業特別会計決算でありまして、歳入総額46億5,819万37円、歳出総額45億8,657万542円、差し引き7,161万9,495円となりました。

議案第5号は、平成27年度旭市下水道事業特別会計決算でありまして、歳入総額6億4,391万5,359円、歳出総額5億5,907万6,485円、差し引き8,483万8,874円となりました。

議案第6号は、平成27年度旭市農業集落排水事業特別会計決算でありまして、歳入総額5,535万2,360円、歳出総額4,990万4,319円、差し引き544万8,041円となりました。

議案第7号は、平成27年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定でありまして、年度末の給水状況は、給水件数1万9,963件、普及率は85.9%、年間給水量は575万5,582立方メートルとなりました。

決算額については、収益的収支における事業収益は14億9,036万5,550円、事業費用は12億9,563万865円となり、当年度純利益は1億9,473万4,685円となりました。

資本的収支については、収入9,147万5,880円に対し、支出は1億6,124万7,571円となり、収支不足額6,977万1,691円は、減債積立金等で補填いたしました。

なお、決算の認定と併せて、当年度末未処分利益剰余金20億1,579万450円のうち6,293万4,685円を減債積立金として、1億3,180万円を建設改良積立金として処分することについて、議会の議決を求めるものであります。

議案第8号は、平成27年度旭市病院事業会計決算でありまして、病院本体の入院患者数は27万5,250人、外来患者数は64万3,793人、飯岡診療所の外来患者数は5,658人となりました。

決算額については、収益的収支における事業収益は358億3,540万8,487円、事業費用は352億2,888万7,823円となり、当年度純利益は6億652万664円となりました。

資本的収支については、収入1億9,618万8,000円に対し、支出は40億9,974万9,240円となり、収支不足額39億356万1,240円は当年度分損益勘定留保資金等で補填いたしました。

議案第9号は、平成28年度旭市一般会計補正予算の議決についてでありまして、歳入歳出にそれぞれ14億4,200万円を追加し、予算の総額を306億1,400万円とするものであります。

議案第10号は、旭市使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、市内の公共施設の使用料との均衡を図るため、海上キャンプ場使用料の改正を行うものであります。

議案第11号及び議案第12号は、財産の取得についてでありまして、議案第11号は、消防ポンプ自動車（CD-I型）1台を購入することについて、議案第12号は、小型動力ポンプ付積載車3台を購入することについて、それぞれ議会の議決を求めるものであります。

議案第13号は、和解及び損害賠償の額を定めることについてでありまして、物損事故による損害について、和解及び損害賠償の額を決定するにあたり、議会の議決を求めるものであります。

議案第14号は、人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについてでありまして、現委員のうち、平成28年12月31日をもって任期満了となる委員の後任の委員候補者を法務大臣に推薦するにあたり、議会の意見を求めるものであります。

私は、熱田みち子氏が適任であり再度お願いしたいと考え、提案するものであります。

報告第1号は、平成27年度旭市奨学基金の運用状況について、報告第2号は、平成27年度旭市高額療養費貸付基金の運用状況について、報告第3号は、平成27年度決算に基づく旭市の健全化判断比率について、報告第4号は、平成27年度の旭市公営企業決算における資金不足比率について、報告第5号は、株式会社季楽里あさひの事業経営状況について、報告第6号は、私債権等の放棄について、それぞれ報告するものです。

次に、この機会に市政の近況についてご報告いたします。

初めに、農業について申し上げます。

水田農業については、6月末まで飼料用米の取り組みの拡大を図ってまいりました。この結果、取り組み農家数は、昨年度とほぼ同数の189件で、取り組み面積は、昨年度に比べ55

ヘクタール増加し、約397ヘクタールとなりました。

園芸については、新「輝け！ちばの園芸」や園芸施設省エネルギー化推進事業等、県の補助事業を活用し、生産施設の整備や省力化機械等の導入に取り組む24農業者に支援を行っているところであります。

畜産、酪農については、T P P 関連対策の国庫補助事業「畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業」で、新たに2戸の補助事業が採択されましたので、今後、事業実施に向け支援を行ってまいります。

産業まつりについては、今年度から一本化し「旭市産業まつり」として、11月13日に海上コミュニティ運動公園で開催いたします。市内の農水産物や商工業製品などの販売・P Rを行い、地域製品の周知と産業振興を図り、市の活性化につなげるとともに、来場者には1日楽しんでいただけるイベントとなるよう準備を進めているところであります。

次に、商業振興について申し上げます。

プレミアム付共通商品券については、7月3日、4日の2日間にわたって販売され、1セット1万1,000円相当を7,000セット、総額7,700万円分を完売しました。また、12月には、さらに1万セット、総額1億1,000万円相当を販売いたします。今後も、引き続き商業の活性化を図っていくとともに消費喚起につながることを期待するものです。

次に、夏期観光について申し上げます。

海水浴場については、矢指ヶ浦海水浴場、飯岡海水浴場ともに7月9日から8月21日までの44日間、市営海浜プールについては、7月16日から8月28日までの44日間開設いたしました。不安定な天候ではありましたが、海水浴場、市営プールともに昨年を上回る来遊者になったところであります。

あさひ砂の彫刻美術展については、7月16日から8月7日まで、文化の杜公園内広場において開催されました。今回は「砂の大恐竜展」と題し、作品の制作にあたっては、国内外のプロも参加し、本格的な作品が展示され、ホームページ、広報などのP Rもあって大勢の家族連れでにぎわいました。

旭市いいおかY O U ・遊フェスティバルについては、7月30日、31日に開催され、イベント史上初となる水中花火が打ち上げられました。主催者発表ではありますが、14万3,000人と昨年より大勢の方々に楽しんでいただけました。

旭市七夕市民まつりについては、「人と人との絆を大切に未来へつなげていこう」をテーマに8月6日、7日に開催され、大勢の見物客でにぎわいました。

ほかにも、7月23日には宝さがしをメインとしたサマーフェスタ in 矢指ヶ浦が、8月11日には地引き綱などを行う矢指ヶ浦復興イベントが開催されました。どのイベントも、市民の皆様をはじめ大勢の観光客の参加により、盛況のうちに終了することができました。これからも、たくさんの方々に楽しんでいただけるよう努めてまいります。

次に、道の駅「季楽里あさひ」について申し上げます。

道の駅については、昨年10月17日の開業以降、市内外から多くのお客様にご利用いただいておりますが、8月16日には、記念すべき来場者数100万人を達成したところであります。今後も、旭市の地域振興の拠点として、産業振興、情報発信に努めてまいります。

また、道の駅の運営を行う「株式会社季楽里あさひ」の第1期となる平成27年度の決算については、初年度から約716万円の純利益を計上しております。

次に、体育振興について申し上げます。

未来（あした）への道1000km縦断リレーについては、青森から東京まで、東日本大震災の被災地区をランニングと自転車をつなぐリレーにより震災の記憶の風化を防ぐとともに、被災地の皆様に元気を届け、人々の絆を深めることを目的として行われており、第4回目となる今年度は、8月5日、6日に旭市をゴール及びスタート地点として通過いたしました。このコースは、2020年東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーのコースを視野に入れたものであり、今後も関係者と協力しながら、全面的に支援してまいります。

千葉県中学校夏季卓球大会については、8月21日に総合体育館において開催され、152チーム、54校が参加し、約1,100人の選手による熱戦が繰り広げられました。この大会前に体育館の空調設備が設置されたことにより、快適な環境が整えられ、関係者の皆様から好評を得たところであります。

世界ジュニア卓球選手権大会男子日本代表選手選考会については、今月8日から11日までの4日間、総合体育館において開催され、18歳以下の日本のトップ選手が出場を予定しています。

第7回旭市民体育祭については、10月9日に、東総運動場において開催いたします。採点種目やオープン種目のほか、エキシビションとしての小・中学校の吹奏楽や郷土芸能など、市民の一体感のさらなる醸成を図るため、多くの市民が参加できる大会にしてまいります。

次に、社会福祉について申し上げます。

低所得の高齢者向けの年金生活者等支援臨時給付金については、8月10日に申請受け付けを終了し、4,356件分の給付を行ったところであります。

低所得の障害・遺族基礎年金向けの給付金及び簡素な給付金については、今月中旬に対象者へ通知を発送するとともに、適正な事務処理と申請漏れのないよう広報紙等で周知に努めてまいります。

次に、教育行政について申し上げます。

旭市学校のあり方検討委員会については、第1回会議を7月20日に開催し、地域、学校、保護者の代表など18名が委員として委嘱されました。今後は、学校の現状を踏まえ、さまざまな観点から学校の適正規模・適正配置について検討いただくこととなります。

次に、義務教育施設の整備について申し上げます。

嚶鳴小学校と飯岡小学校の屋内運動場防災機能強化工事については、8月末に完成いたしました。引き続き、安心安全な教育環境の実現を図るため、他の未改修の屋内運動場についても、順次、計画的に進めてまいります。

第一中学校大規模改造工事については、校舎北側への外部足場の設置が8月末で終了し、今後、校舎4階の内部工事に着手してまいります。工事を進めるにあたっては、授業等への影響に最大限配慮しながら、平成29年8月末の完成を目指し進めてまいります。

次に、文化振興について申し上げます。

旭市民音楽祭については、8月11日に東総文化会館を会場に21団体、204名の参加により開催し、嚶鳴小学校と三川小学校による吹奏楽やピアノ、バンドによる演奏などが披露されました。

あさひのまつりについては、今年25日に東総文化会館において開催いたします。今年は9団体、196名が参加する予定であります。

今後も引き続き、市民参加型の文化活動を支援するとともに、幅広い事業展開をしてまいります。

次に、交流事業について申し上げます。

ドイツ交流事業については、7月16日から23日までの8日間、ドイツ、デュッセルドルフ市から卓球技術向上を目指す12歳から16歳までの男女8名の選手とコーチ2名が旭市を訪れ、本市を含む県内の選抜チームとの交流試合や市内観光施設の見学、陶芸や折り紙体験などさまざまな交流が行われました。

農業交流事業については、7月25日から29日までの5日間、ジェフユナイテッド市原・千葉レディースの中学生選手15名が市内の農家に宿泊して農作業に従事しました。また、27日には、旭スポーツの森公園においてサッカー教室を開催し、市内サッカースポーツ少年団と

の交流も行いました。ジェフの指導者からは「この貴重な農業体験が選手の成長の糧となる」との感謝の言葉をいただいております。

旭市・茅野市児童交流事業については、8月2日から4日までの3日間、市内小学生29名が、沖縄交流事業については、6月30日から7月2日までの3日間、市内小学生20名が参加し、姉妹都市の茅野市、中城村をそれぞれ訪問し、訪問先の児童との交流を深めました。また、中城村からは、11月17日から3日間、18名の児童が旭市を訪れる予定となっております。これらの事業を通じて、児童相互の友好関係、文化、歴史などの相互理解を深め、豊かな人間性を育むとともに、姉妹都市の一層の友好親善を図ってまいります。

次に、イメージアップキャラクター活用事業について申し上げます。

イメージアップキャラクター「あさピー」については、7月22日から10月24日まで行われる「ゆるキャラグランプリ2016」にエントリーいたしました。これは、全国のゆるキャラやご当地キャラが登録し、インターネットによる投票で順位を競う、いわゆるキャラクターの総選挙で、あさピーの8月25日現在の順位は、全国でのエントリー総数1,417のうち165位、千葉県でのエントリー総数60のうち4位であります。投票期間が3か月という長丁場でありますので、今後も引き続き市民の皆様にご投票を呼びかけてまいります。

次に、旭市ふるさと応援寄附推進事業について申し上げます。

ふるさと応援寄附については、本年3月1日から寄附をいただいた方への返礼品の贈呈を開始いたしました。その結果、平成28年3月期における寄附の決算額については、約71万9,000円、申込額としては約110万9,000円でありました。

このふるさと応援寄附は、単に市外から寄附を募ることだけが目的ではなく、旭市の情報や魅力的な特産品などをPRする重要な手段でありますので、これからも内容の充実、PRに努めてまいります。

次に、市道の整備について申し上げます。

飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業については、計画延長2,347メートルのうち1,120メートルが完成し、一部区間において通行を開始いたしました。引き続き関係地権者のご理解とご協力をいただき、早期完成に努めてまいります。

次に、排水整備について申し上げます。

蛇園南地区流末排水整備事業については、計画延長3,425メートルのうち2,076メートルが完成し、工事延長379メートルの区間を着工いたしました。引き続き早期完成に努めてまいります。

次に、地区懇談会について申し上げます。

市の主要事業や財政状況など、市政の最新の動向について説明し、市民の皆様と直接話し合い、ご意見やご提案をいただくため、地区懇談会を10月20日から市内5か所で開催いたします。この懇談会に、より多くの皆様にご参加いただき、今後の市政の進展に結びつけていきたいと考えております。

次に、防災について申し上げます。

旭市総合防災訓練については、9月4日に、房総沖を震源とする震度6弱の大地震が発生したという想定のもとに、共和小学校をメイン会場とし、共和地区の住民の皆様をはじめ、関係団体の参加により実施いたします。

また、昨年同様、富浦小や津波避難タワー、いいおか潮騒ホテルの屋上など、沿岸地域の津波避難施設への自主避難訓練も併せて実施いたします。

今後も、このような実践的な訓練を行うことにより、地域住民の防災意識の高揚を図り、「災害に強い地域づくり」を進めてまいります。

以上、このたび提案いたしました案件の趣旨をご説明し、併せて市政の近況について申し上げます。

詳しくは事務担当者から説明し、また、質問に応じてお答えいたしますので、ご賛同賜りますようお願い申し上げます。

○議長（平野忠作） 提案理由の説明並びに政務報告は終わりました。

◎日程第7 議案の補足説明及び報告の説明

○議長（平野忠作） 日程第7、議案の補足説明及び報告の説明。

初めに、決算議案について説明を求めます。

議案第1号について、財政課長、登壇してください。

（財政課長 伊藤憲治 登壇）

○財政課長（伊藤憲治） それでは、議案第1号、平成27年度旭市一般会計決算の認定について補足説明を申し上げます。

初めに、決算の概要について申し上げますので、お手元にお配りしております平成27年度旭市一般会計歳入歳出決算に関する説明資料をご覧いただきたいと思っております。こちらの資料

でございます。

それでは、資料の1ページをお願いいたします。

1の決算規模ですが、平成27年度一般会計の決算額は、歳入が314億4,578万7,000円で、前年度と比べて4億9,734万7,000円、1.6%の減、歳出が286億3,807万5,000円で、前年度と比べて6,396万3,000円、0.2%の増となり、翌年度へ繰り越すべき財源3億4,175万6,000円を差し引いた実質収支は24億6,595万6,000円となりました。

次に、2ページをお願いいたします。

2の歳入の決算額です。

第2の1表は、歳入の構成比の推移を表したもので、平成27年度の決算では、割合が一番多いのは地方交付税で30.7%、2番目は市税で23.0%となっております。

続いて、3ページに移りまして、第2の2表は、歳入の主な4項目について決算額の推移を表したものです。平成27年度は、前年度と比べて、市税は0.8%の減、地方交付税は2.2%の減、国県支出金は7.8%の減、市債については5.6%の増となっております。それぞれの額は、下の表に記載のとおりでございます。

次に、4ページをお願いいたします。

3の歳出の決算額ですが、第3の1表は、目的別歳出の決算額の推移を表したものです。

大きい順に申し上げますと、民生費、総務費、教育費、公債費、土木費、衛生費となっております。

次に、5ページに移りまして、第3の2表は、性質別歳出の構成比です。人件費、扶助費、公債費を合わせた義務的経費の割合は、前年度と比べて0.1ポイント低下しており、これに物件費、補助費等、維持補修費を加えた経常的経費の割合は1.0ポイント上昇しております。また、投資的経費の割合については、前年度と同じ割合となっております。

次に、6ページをお願いいたします。

4の財政の弾力性です。

第4表は、経常収支比率の推移を表したもので、27年度の経常収支比率は84.3%で、前年度の86.0%と比べて1.7ポイント低下いたしました。

次に、7ページに移りまして、5は将来の財政負担であります。上のグラフ第5の1表は、健全化判断比率の一つで、実質公債費比率の推移を表しています。27年度の決算では9.0%となり、前年度の9.9%と比べて、0.9ポイント改善しております。なお、グラフにも表示しておりますが、早期健全化基準は25%、財政再生基準は35%となっており、旭市の数

値は基準を大きく下回っております。

下の第5の2表は、これも健全化判断比率の一つであります将来負担比率の推移を表しています。これは、一般会計をはじめ公営企業や一部事務組合、第三セクター等も含めて、旭市が将来負担する実質的な負債の標準財政規模に対する比率であります。平成27年度決算の数値は23.1%となり、前年度の41.1%と比べて18.0ポイント改善しております。この数値につきましても、早期健全化基準の350%を大きく下回っております。

なお、健全化判断比率につきましては、後ほど報告第3号で説明いたします。

次に、8ページをお願いいたします。

第5の3表は、市債現在高・借入額・償還額の推移を表しています。市債の現在高は平成27年度末で278億7,468万円となり、前年度と比べて1億4,243万4,000円増加いたしました。

次に、9ページに移りまして、第5の4表は、市債現在高と交付税算入見込額を表しています。

平成27年度の棒グラフをご覧ください。短いほうが一般会計だけ、長いほうは全会計を合わせたものであります。

初めに、短いほうのグラフですが、一般会計の平成27年度末の市債現在高278億7,468万円に対して、交付税算入額は238億1,746万2,000円で、市債現在高に対する割合は約85.4%となっており、実質負担額は年々減少しております。

長いほうのグラフの全会計では、平成27年度末の市債現在高574億2,712万3,000円に対して、交付税算入見込額は327億3,650万4,000円で、市債現在高に対する割合は57.0%となっております。

次に、10ページをお願いいたします。

6は基金の現在高で、第6表は、一般会計の基金現在高の推移を表したものです。平成27年度末における一般会計の基金の総額は137億3,052万1,000円で、前年度と比べて11億7,049万6,000円増えております。増の主な理由は、財政調整基金及び庁舎整備基金の増によるものであります。

なお、特別会計を含めた全基金の総額は、下の表にありますように144億9,057万7,000円となっております。

次に、11ページをお願いいたします。

この表は、復興関連基金充当事業として、震災からの復興に要した事業費及び歳入についてまとめた資料であります。平成27年度の事業費の総額は、表の一番下にありますが、19億

4,122万9,000円で、事業の主なものは、表の2番、東日本大震災復興交付金基金積立金で2億2,630万4,000円、11番の震災復興・津波避難道路整備事業が、12番の繰越明許費、13番の事故繰越し分と合わせて1億5,484万9,000円、19番の飯岡中学校改築事業が、20の繰越分と合わせて14億4,712万7,000円となっております。

以下、12ページから22ページまでは、昨年と同様に決算のデータを表示してありますので、後ほどご覧いただきたいと思っております。

また、23ページ以降の主な施策に関する事項は、27年度決算における主な施策の事業概要を決算書の掲載ページ順に掲載してあります。これらも後ほどご覧いただきたいと思っております。

以上で資料による説明は終わりますので、次に決算書によりご説明しますので、お手元に決算書をご用意いただきたいと思っております。

それでは、決算書によりご説明いたします。

1ページから15ページまでは、歳入歳出決算書及び事項別明細書の歳入総括表でありますので説明は省略して、16ページの歳入からご説明いたします。

16ページをお願いいたします。

左右見開きとなっておりますので、右ページの収入済額を中心にご覧いただきたいと思っております。なお、各款ごとの平成26年度との差引増減は、先ほど説明いたしました決算説明資料の13ページに記載してありますので、併せてご覧をいただければと思っております。

それでは、1款の市税でございます。収入済額72億2,605万3,186円で、前年度比5,921万5,177円、0.8%の減となっております。

次に、18ページをお願いいたします。

2款地方譲与税は、収入済額3億3,342万8,005円で、前年度比1,504万5,000円、4.7%の増となっております。

3款利子割交付金は、収入済額1,162万9,000円で、前年度比122万5,000円、9.5%の減となっております。

4款配当割交付金は、収入済額4,278万5,000円で、前年度比1,405万1,000円、24.7%の減となっております。

5款株式等譲渡所得割交付金は、収入済額4,507万円で、前年度比505万2,000円、12.6%の増となっております。

続いて、20ページをお願いいたします。

6款地方消費税交付金は、収入済額12億3,045万7,000円で、平成26年4月の消費税率の引

き上げにより、前年度比4億7,020万円、61.8%の大幅な増となっております。

7款自動車取得税交付金は、収入済額8,859万7,000円で、前年度比2,552万4,000円、40.5%の増となっております。

8款地方特例交付金は、収入済額3,078万円で、前年度比114万7,000円、3.9%の増となっております。

9款地方交付税は、収入済額96億6,356万4,000円で、前年度比2億1,233万4,000円、2.2%の減となっております。内訳としましては、備考欄の1普通交付税が85億3,039万9,000円で、前年度比2億1,595万8,000円、2.6%の増。備考欄の2特別交付税が11億3,316万5,000円で、前年度比4億2,829万2,000円、27.4%の減となっております。減の主な理由ですが、震災復興分の特別交付税が約4億2,700万円減となったことによるものであります。

10款交通安全対策特別交付金は、収入済額1,095万2,000円で、前年度比10万3,000円、0.9%の増となっております。

22ページをお願いいたします。

11款分担金及び負担金は、収入済額4億295万3,731円で、前年度比2億2,559万9,661円、35.9%の減。反対に、12款の使用料及び手数料は、収入済額6億4,599万1,039円で、前年度比2億2,796万5,502円、54.5%の増となっております。これらは主に、子ども・子育て新制度の創設に伴い、平成27年度から公立保育施設保育料の予算科目が11款から12款へ移行したことによるものであります。

少し飛びまして、26ページをお願いいたします。下のほうになります。

13款国庫支出金は、収入済額30億3,469万3,287円で、前年度比5億371万1,862円、14.2%の減となっております。

また少し飛びまして、30ページをお願いいたします。

下のほうになりますが、14款県支出金は、収入済額15億212万3,819円で、前年度比1億2,004万434円、8.7%の増となっております。

また少し飛びまして、38ページをお願いいたします。

15款財産収入は、収入済額4,392万7,633円で、前年度比154万6,042円、3.4%の減となっております。

40ページをお願いいたします。

16款寄附金は、収入済額1,112万2,804円で、前年度比520万2,093円、31.9%の減となっております。

42ページをお願いいたします。

17款繰入金は、収入済額5億2,684万8,637円で、前年度比6億9,483万2,581円、56.9%の大幅な減となっております。減の主な理由は、2項2目の災害復興基金繰入金が1億823万7,000円の減、その下の3目東日本大震災復興交付金基金繰入金が5億8,603万4,000円の減となったことによるものであります。

44ページをお願いいたします。

18款繰越金は33億6,902万2,347円、前年度比2億9,249万2,285円、9.5%の増となっております。

19款諸収入は、収入済額3億8,348万8,958円で、前年度比8,909万8,119円、18.9%の減となっております。

次に、46ページをお願いいたします。下のほうになります。

20款市債は、収入済額28億4,230万円で、前年度比1億5,190万円、5.6%の増となっております。

以上で歳入の説明を終わりにさせていただきまして、続いて歳出について、款ごとに主な事業をご説明いたします。

それでは、52ページをお願いいたします。

1款議会費は、支出済額2億5,535万7,628円で、前年度比1,066万2,561円、4.4%の増となっております。

次に、54ページをお願いいたします。下のほうになります。

2款総務費は、支出済額49億5,374万3,018円、前年度比7,648万9,659円、1.5%の減で、減の主な理由は、東日本大震災復興交付金基金への積み立ての減によるものであります。ここで翌年度繰越額は、繰越明許費5,358万7,000円で、内訳は、電算システム運用事業と住民基本台帳事務費の2件であります。

少し飛びまして、65ページをお願いいたします。

1項1目一般管理費の備考欄11庁舎整備基金積立金は、3億58万2,607円を積み立て、平成27年度末の現在高を約21億円としたものであります。

少し飛びまして、73ページをお願いいたします。

上の段、1項4目財政管理費の備考欄3東日本大震災復興交付金基金積立金2億2,630万3,544円は、東日本大震災復興交付金を財源として積み立てたものであります。

75ページをお願いいたします。

上の段の1項6目財産管理費の備考欄2財政調整基金積立金は、平成26年度の剰余金など11億1,107万9,844円を積み立てたものであります。

77ページをお願いいたします。一番下になります。

1項7目企画費の備考欄5道の駅施設整備事業6億9,065万8,482円は、季楽里あさひの建築工事費等であります。

79ページをお願いいたします。

備考欄6「がんばろう！旭」復興支援事業1,011万7,000円は、復興イベントなどに対する補助を行ったものであります。

なお、総務費に係る主要事業は、先ほどの決算に関する説明資料の23ページから32ページに掲載してありますので、後ほどご覧いただきたいと思っております。

次に、決算書のほう少し飛びまして、106ページをお願いいたします。106ページの下のほうになります。

3款民生費は、支出済額82億6,401万2,417円で、前年度比3億5,780万6,294円、4.5%の増となっております。翌年度繰越額は、繰越明許費3億2,312万円で、内容は、臨時福祉給付金給付事業と民間教育・保育施設改築事業の2件であります。

少し飛びまして、115ページをお願いいたします。

1項1目社会福祉総務費の備考欄11臨時福祉給付金給付事業6,532万6,013円は、国の消費税増税に伴う低所得者対策として実施されたものであります。

飛びまして、121ページをお願いいたします。

1項2目障害者福祉費の備考欄11自立支援給付事業10億8,213万2,518円は、共同生活援助給付費の増により、前年度比5,333万2,535円の増となっております。

123ページをお願いいたします。

1項4目国民健康保険費の備考欄2国民健康保険事業特別会計繰出金7億7,830万1,342円は、国保保険基盤安定保険税軽減分繰出金等の増により、前年度比1億7,404万3,868円の増となっております。

飛びまして、139ページをお願いいたします。

3項1目児童福祉総務費の備考欄13子育て世帯臨時特例給付金給付事業2,883万3,364円は、国の消費税増税対策として実施されたものであります。

なお、民生費に係る主要事業は、説明資料の33ページから44ページに記載しております。

また飛びまして、150ページをお願いいたします。下のほうになります。

4款衛生費は、支出済額14億7,508万9,331円で、前年度比571万276円、0.4%の増となっております。

飛びまして、159ページをお願いいたします。

1項1目保健衛生総務費の備考欄10看護学生入学支度金貸付事業520万円は、平成27年度の新規事業で、看護師の確保対策として、看護師養成施設への入学金の一部を貸し付けるものであります。

飛びまして、167ページをお願いいたします。一番下になります。

1項4目環境衛生費の備考欄2環境衛生事務費1億6,429万8,954円は、前年度比3,575万775円の増となっておりますが、これは主に東総衛生組合負担金の増によるものであります。なお、衛生費に係る主要事業は、説明資料の45ページから53ページに記載しております。また飛びまして、180ページをお願いいたします。180ページの一番下になります。

5款労働費は、支出済額144万9,146円で、前年度比1万2,506円、0.9%の減となっております。

次の182ページをお願いいたします。

6款農林水産業費は、支出済額7億4,540万2,742円で、前年度比8,576万1,574円、13.0%の増となっております。翌年度繰越額は、繰越明許費4,230万円で、内容は、畜産競争力強化対策整備事業と保安林植栽事業の2件であります。

少し飛びまして、199ページをお願いいたします。

1項5目農地費の備考欄4農業基盤整備事業5,454万7,215円は、前年度比3,253万7,038円の増となっておりますが、これは主に飯岡西部工区負担金の増によるものであります。

201ページをお願いいたします。

備考欄7農地・水保全管理事業5,397万4,188円は、多面的機能支払交付金の増により、前年度に比べ、4,222万4,773円の増となっております。

なお、農林水産業費に係る主要事業は、説明資料の54ページから58ページに記載しております。

次に、また飛びまして、204ページをお願いいたします。

7款商工費は、支出済額4億7,448万1,840円で、前年度比7,959万1,517円、20.2%の増となっております。翌年度繰越額は、繰越明許費304万8,000円で、内容は、観光資源創出プロモーション事業の1件であります。

飛びまして、209ページをお願いいたします。

1項2目商工振興費の備考欄5商業活性化推進事業は、備考欄6の繰越明許分と合わせまして1億2,584万3,532円で、主な内容は、国の経済対策として実施されたスーパープレミアム付共通商品券発行事業補助金等であります。

少し飛びまして、219ページをお願いいたします。

1項3目観光費の備考欄7観光振興事業（繰越明許分）2,054万5,734円は、地方版総合戦略に基づく国の交付金による事業で、市の観光PRや新たな特産品開発に係る支援など、観光産業振興のための事業を実施したものであります。

なお、商工費に係る主要事業は、説明資料の59ページから62ページに記載しております。

220ページをお願いいたします。

8款土木費は、支出済額21億8,285万1,817円で、前年度比2,328万1,302円、1.1%の増となっております。翌年度繰越額は、繰越明許費が2億6,340万1,000円、事故繰越しが7,694万5,080円となっております。

繰越明許に係る事業は、道路新設改良事業、旭中央病院アクセス道整備事業、橋梁長寿命化修繕事業など全部で5件であります。また、事故繰越しに係る事業は、道路新設改良事業、冠水対策排水整備事業などの5件であります。

少し飛びまして、227ページをお願いいたします。

2項2目道路維持費の備考欄2道路維持補修事業は、備考欄3の繰越明許分と合わせて1億9,115万4,008円となります。主な内容は、工事請負費と道路補修委託料であります。

229ページをお願いいたします。

2項3目道路新設改良費の備考欄2道路新設改良事業は、備考欄3の繰越明許分、それと備考欄4の事故繰越し分と合わせて、2億1,588万6,973円となりますが、主な内容は、工事請負費と補償金であります。

少し飛びまして、233ページをお願いいたします。

備考欄12震災復興・津波避難道路整備事業は、備考欄13の繰越明許分、それと備考欄14の事故繰越し分と合わせて1億5,484万8,760円となりますが、主な内容は、工事請負費と調査・設計委託料であります。

また少し飛びまして、247ページをお願いいたします。

4項2目住宅建設支援費の備考欄2津波被災住宅再建支援事業4,574万7,000円は、東日本大震災の津波で被災した世帯で、住宅を建設、購入または補修した被災者を対象にその一部を補助したものであります。

なお、土木費に係る主要事業は、説明資料の63ページから70ページに記載しております。
同じ247ページになりますが、一番下の9款消防費は、支出済額11億7,660万9,008円で、
前年度比2,240万4,622円、1.9%の減となっております。翌年度繰越額は、繰越明許費2,245
万8,000円で、内容は、消防庫整備事業の1件であります。

少し飛びまして、259ページをお願いいたします。

1項3目災害対策費の備考欄2災害に強い地域づくり事業2,388万6,900円の主な内容は、
津波避難施設、いわゆる築山の基本設計業務委託と地域防災計画修正業務委託であります。

なお、消防費に係る主要事業は、説明資料の71ページから74ページに記載しております。
次に、260ページをお願いいたします。

○議長（平野忠作） 説明は途中ですが、11時15分まで休憩いたします。

休憩 午前11時 4分

再開 午前11時15分

○議長（平野忠作） 休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続き、議案第1号の補足説明を求めます。

財政課長、登壇してください。

（財政課長 伊藤憲治 登壇）

○財政課長（伊藤憲治） それでは、引き続き一般会計決算の歳出について説明を申し上げます。
260ページをお願いいたします。

10款教育費は、支出済額36億4,871万8,757円で、前年度比4億5,986万4,866円、11.2%の
減で、減の主な理由は、小学校大規模改造事業及び飯岡中学校改築事業の減によるものであ
ります。翌年度繰越額は、繰越明許費1億6,248万9,000円で、内容は、小学校大規模改造事
業と飯岡中学校改築事業の2件であります。

少し飛びまして、273ページをお願いいたします。

2項1目学校管理費の備考欄4小学校大規模改造事業1億3,061万5,200円の主な内容は、
琴田小学校及び中和小学校の屋内運動場防災機能強化工事に係るものであります。

また少し飛びまして、281ページをお願いいたします。下のほうになります。

3項1目学校管理費の備考欄4飯岡中学校改築事業は、次のページ備考欄5の繰越明許分

と合わせて14億4,712万6,582円で、飯岡中学校校舎等の改築に係る工事費と設計・監理委託料などであります。

なお、教育費に係る主要事業は、説明資料の75ページから80ページに記載しております。次に、今度は大きく飛びまして、336ページをお願いいたします。

11款災害復旧費は、支出済額はございません。前年度比2,701万6,200円の皆減となっております。

338ページをお願いいたします。

12款公債費は、支出済額29億6,200万1,602円で、前年度比429万2,091円、0.1%の増となっております。

同じページの13款諸支出金は、支出済額24億9,835万7,869円、前年度比8,264万6,000円、3.4%の増で、増の主な理由は、病院事業会計繰出金の増によるものであります。

以上で、議案第1号、平成27年度旭市一般会計決算についての補足説明を終わります。

○議長（平野忠作） 財政課長の補足説明は終わりました。

議案第2号、議案第3号について、保険年金課長、登壇してください。

（保険年金課長 高木松夫 登壇）

○保険年金課長（高木松夫） 議案第2号、平成27年度旭市国民健康保険事業特別会計決算について補足説明を申し上げます。

決算書の説明に入ります前に、平成27年度の国保事業の状況について申し上げます。

年間平均の国保世帯数は1万2,710世帯で、前年度比227世帯、1.8%の減、また、被保険者数は2万4,967人で、前年度比1,162人、4.4%の減であります。

それでは、決算書によりご説明申し上げます。

343ページをお開きください。

まず、事業勘定において、歳入決算額は108億6,692万6,870円で、前年度比15.4%の増となり、歳出決算額については106億5,502万4,061円で、前年度比17.6%の増となっております。

少し飛びまして、352ページをお願いいたします。

歳入歳出差引残額2億1,190万2,809円につきましては、平成28年度に財政調整基金へ1億600万円を積み立てまして、残額1億590万2,809円は、繰越金とするものであります。

歳入歳出の主な事項につきましては、歳入歳出決算事項別明細書によりご説明申し上げます。

362ページをお願いいたします。

初めに、歳入についてご説明申し上げます。

1 款国民健康保険税の収入済額は25億3,768万5,839円となり、前年度比で4.5%の減となっております。収納率は71%となり、前年度と比べて1.2ポイントの上昇であります。また、不納欠損額は9,473万7,401円で、収入未済額は9億4,118万9,800円であります。

364ページをお願いいたします。

4 款国庫支出金の収入済額は24億5,173万6,009円となり、前年度比0.5%の減であります。

1 項 1 目療養給付費等負担金の収入済額は18億9,135万3,157円となり、前年度比0.2%の減であります。

2 目高額医療費共同事業負担金の収入済額は7,132万852円であります。

3 目特定健康診査事業費等負担金は1,465万3,000円であります。

366ページをお願いいたします。

2 項 1 目財政調整交付金の収入済額は4億7,427万3,000円で、前年度比0.3%の減であります。内訳は、普通調整交付金として3億3,799万8,000円、特別調整交付金として1億3,627万5,000円であります。

5 款 1 項 1 目療養給付費等交付金は、65歳未満の方のうち退職被保険者の医療費に対する交付金で、収入済額は2億660万426円となり、前年度比15%の減であります。

6 款 1 項 1 目前期高齢者交付金は、65歳以上75歳未満の方に係る医療費への交付金となります。収入済額は13億3,455万8,751円となり、前年度比5%の増であります。

7 款県支出金の収入済額は7億775万7,852円となり、前年度比7.2%の増であります。

1 項 1 目高額医療費共同事業負担金の収入済額は、国庫負担金と同額の7,132万852円であります。

2 目特定健康診査事業費等負担金は1,496万1,000円であります。

368ページをお願いします。

2 項 1 目県財政調整交付金は6億2,147万6,000円で、前年度比9.6%の増であります。内訳は、普通調整交付金として3億5,752万6,000円、特別調整交付金として2億6,395万円であります。

8 款共同事業交付金の収入済額は24億8,186万8,783円で、前年度比115.6%の増となっております。その内訳を申し上げます。1 項 1 目高額医療費共同事業交付金の収入済額は2億4,106万5,314円で、前年度並みとなっております。これは、高額医療費のうち1か月につき

80万円を超えるものについて交付の対象となるものであります。

2目保険財政共同安定化事業交付金の収入済額は22億4,080万3,469円で、前年度比146.3%の増となっております。大きな伸びの要因は、平成26年度までは、高額医療費のうち1か月につき30万円を超え80万円以下のものが交付の対象でありましたが、平成27年度からは事業が拡大され、1円から80万円以下が対象となったためであります。

10款の繰入金について申し上げます。

1項1目一般会計繰入金、1節保険基盤安定繰入金は、収入済額が4億4,903万6,342円となり、前年度比37.3%の増であります。内訳は、保険税軽減分が2億8,196万450円、保険者支援分が1億6,707万5,892円であります。増額の理由は、保険税軽減が拡充されたことにより、交付金が増となったものであります。

2節職員給与費等繰入金の収入済額は3,990万9,000円となり、前年度比7.2%の減であります。

3節出産育児一時金等繰入金の収入済額は2,769万8,000円となり、前年度比22.5%の減であります。

4節財政安定化支援事業繰入金の収入済額は455万8,000円となり、前年度比78.8%の減であります。減の要因は、保険税軽減拡充による国の交付金が増えたことにより、算定の見直しが行われたことによるものであります。

5節その他一般会計繰入金の収入済額は2億5,000万円で、前年度比47.1%の増であります。

370ページをお願いします。

2項1目財政調整基金繰入金の収入済額は1億3,000万円で、前年度比30%の増であります。

11款繰越金の収入済額は1億7,615万7,326円となっております。

12款諸収入の収入済額は6,866万3,121円で、主なものは保険税に係る延滞金や特定健診の受託収入並びに交通事故等による第三者納付金などあります。

続きまして、歳出についてご説明申し上げます。

376ページをお願いいたします。

1款総務費の支出済額は3,613万1,547円となり、前年度比10.1%の減であります。内訳は、国保事業の管理運営費である1項1目一般管理費1,684万6,062円と、国保税徴収に係る費用である2項1目賦課徴収費1,616万3,685円が主であります。

378ページをお願いいたします。

保険給付費の支出済額は58億796万5,654円となり、前年度比5.7%の増であります。

1項療養諸費の支出済額は50億8,558万5,332円となり、前年度比5.7%の増であります。

380ページをお願いします。

高額療養費の支出済額は6億7,386万9,629円となり、前年度比7.9%の増であります。

384ページをお願いします。

3款後期高齢者支援金の支出済額は13億7,832万8,623円となり、前年度比2.4%の減であります。

4款前期高齢者納付金の支出済額は91万6,972円となり、前年度比16.1%の減であります。

386ページをお願いします。

6款介護納付金の支出済額は6億2,275万1,666円となり、前年度比8.3%の減であります。

7款共同事業拠出金は25億9,408万238円で、前年度比116.3%の増であります。その主な内容を申し上げますと、1項1目高額医療費共同事業拠出金の支出済額は2億8,528万3,408円で、前年度比7.4%の減であります。

2目の保険財政共同安定化事業拠出金につきましては、歳入の交付金のところでもご説明したとおり、1円から80万円以下の医療費に対象が拡大されたものでありまして、その支出済額は23億879万5,092円で、前年度比159%の増であります。

388ページをお願いします。

8款保健事業費は1億1,360万3,179円となり、前年度比1.1%の増であります。

390ページをお願いいたします。

諸支出金は1億78万6,883円となり、前年度比18%の減であります。

392ページをお願いいたします。

諸支出金の主なものは、3目償還金の国庫支出金精算に伴う返還金及び中央病院と滝郷診療所への繰出金であります。

少し飛びまして、414ページをお願いいたします。

実質収支に関する調書は、記載のとおりであります。

353ページへお戻りください。

施設勘定、滝郷診療所の決算についてご説明申し上げます。

歳入決算額は8,750万334円となり、前年度比6.7%の増となっております。歳出決算額は8,291万1,776円となり、前年度比6.1%の増となっております。

358ページをお願いいたします。

歳入歳出差引残額458万8,558円につきましては、平成28年度に財政調整基金へ230万円を積み立てまして、残額228万8,558円は繰越金とするものであります。

歳入歳出の主な事項につきましては、歳入歳出決算事項別明細書によりご説明申し上げます。

少し飛びまして、398ページをお願いいたします。

初めに、歳入についてご説明申し上げます。

1款診療収入の収入済額は7,378万403円となり、前年度比7.4%の増であります。

400ページをお願いいたします。

6款繰入金の収入済額は1,140万円となっております。内訳としましては、1項他会計繰入金740万円と2項の基金繰入金400万円であります。

7款繰越金の収入済額は190万8,947円であります。

8款諸収入の収入済額は30万6,680円で、主な内容は介護保険意見書料等であります。

続いて歳出になります。

406ページをお願いいたします。

1款総務費ですが、支出済額は4,529万2,296円となり、前年度比3.8%の増であります。

408ページをお願いいたします。

2款医業費ですが、これは医薬品や器材の購入費でありまして、支出済額は3,751万7,059円となり、前年度比8.6%の増であります。

飛びまして、415ページをお願いいたします。

実質収支に関する調書は、記載のとおりであります。

以上で、議案第2号、平成27年度旭市国民健康保険事業特別会計決算についての補足説明を終わります。

続きまして、議案第3号、平成27年度旭市後期高齢者医療特別会計決算について補足説明を申し上げます。

決算書の説明に入ります前に、平成27年度の後期高齢者医療の状況について申し上げます。

被保険者数の年間平均は9,191人で、前年度比55人、0.6%の増であります。被保険者数の内訳は、一部負担金の割合で3割負担の方が283人、前年度比2.7%の減、1割負担の方は8,908人で、前年度比0.7%の増となっております。

それでは、決算書によりご説明申し上げます。

417ページをお開きください。

歳入決算額は5億1,724万6,158円で、前年度比0.2%の増となり、歳出決算額は5億131万1,270円で、前年度とほぼ同額となっております。

422ページをお願いいたします。

歳入歳出差引残額1,593万4,888円につきましては、平成28年度へ繰越金とするものであります。

決算の内容につきましては、決算事項別明細書により、主な項目についてご説明申し上げます。

426ページをお願いいたします。

初めに、歳入についてご説明申し上げます。

1款保険料の収入済額は3億4,240万9,700円となり、前年度比で0.7%の減となっております。収納率は99.4%であります。また、不納欠損額は20万5,200円で、収入未済額は194万2,250円あります。

2款繰入金の収入済額は1億5,745万8,287円で、前年度比1.3%の増となっております。これは、徴収事務費等に係る経費と保険料の軽減分に対する県と市の負担金を繰り入れたものであります。

3款繰越金の収入済額は1,534万7,355円となっております、前年度比9.3%の増となっております。

4款諸収入の収入済額は203万816円となり、前年度比1%の減となっております。主な内容は、保険料の延滞金及び還付金収入と、広域連合からの賦課徴収業務委託金であります。

次に、歳出についてご説明申し上げます。

432ページをお願いいたします。

1款総務費の支出済額は1,411万1,083円となり、前年度比1.8%の増であります。

1項1目一般管理費の1,196万5,413円は、広域連合に代わって各種届け出を処理するための事務的経費で、前年度比0.3%の増であります。

2項1目徴収費の214万5,670円は、保険料の徴収に要した経費で、前年度比11.2%の増であります。

2款広域連合納付金の支出済額は4億8,657万8,487円となり、前年度比0.1%の増であります。これは、徴収した保険料と低所得者等の保険料軽減分を、保険基盤安定拠出金として広域連合へ納付したものであります。

3款諸支出金の支出済額は62万1,700円となり、前年度比33%の減であります。これは、保険料還付金であります。

飛びまして、436ページをお願いいたします。

実質収支に関する調書は、記載のとおりであります。

以上で、議案第3号、平成27年度旭市後期高齢者医療特別会計決算についての補足説明を終わります。

○議長（平野忠作） 保険年金課長の補足説明は終わりました。

議案第4号について、高齢者福祉課長、登壇してください。

（高齢者福祉課長 宮内 隆 登壇）

○高齢者福祉課長（宮内 隆） 議案第4号、平成27年度旭市介護保険事業特別会計決算の認定について補足説明を申し上げます。

決算書の説明に入ります前に、平成27年度末における介護保険の状況についてご説明いたします。

お手元の決算に関する説明資料をご覧くださいと思います。この用紙になります。すみません、よろしく申し上げます。

1ページをお願いいたします。

1番の高齢者人口等ですが、この資料は平成28年3月末の状況を、第6期介護保険事業計画及び前年度の状況と比較したものとなっております。

上から2行目のB欄をご覧ください。

65歳以上の第1号被保険者数は1万8,793人で、前年度比417人の増となり、伸び率は2.3%となりました。

3行下になります。

65歳以上の人口比率、いわゆる高齢化率は27.9%で、前年度比0.8ポイントの増となりました。

要介護認定者数は2,887人で、前年度比90人の増、伸び率は3.2%となりました。

一番下の欄になりますが、第1号被保険者に占める割合は14.8%で、前年度比0.2ポイントの増となりました。

以下、2番の介護度別認定者数、2ページへ移りまして、3番、介護保険料、4番、所得段階別第1号被保険者数、続いて3ページにおきましては、5番、保険料納付状況、6番、保険給付費のサービス別支出状況となっておりますが、記載のとおりでございますので、後

ほどご覧いただきたいと思ひます。

ここからは決算書で説明いたしますので、ご用意をお願いいたします。

437ページをお願いいたします。

歳入歳出予算額46億8,800万円に對しまして、歳入の決算額は46億5,819万37円で、前年度と比較いたしまして1.4%の増となりました。

歳出の決算額は45億8,657万542円で、前年度と比較いたしまして1.5%の増となり、歳入歳出の差引残額は7,161万9,495円となりました。

歳入について説明いたします。

446ページをお願いいたします。

1款保険料の収入済額は9億6,530万4,282円で、前年度と比較いたしまして8.2%の増となりました。収納率は96.1%で、前年度と比較いたしまして0.2ポイントの増となっております。

1項1目第1号被保険者保険料は、1節現年度分特別徴収保険料の収入済額が8億7,102万2,925円となっております。

2節現年度分普通徴収保険料の収入済額は8,786万2,135円となりました。

3節過年度分普通徴収保険料の収入済額は641万9,222円となっております。

2款国庫支出金の収入済額は10億7,937万5,407円で、前年度と比較いたしまして2.4%の増となっております。内容としましては、介護給付費負担金並びに調整交付金及び地域支援事業交付金のそれぞれのルール分となっております。

3款支払基金交付金の収入済額は12億3,228万7,000円で、前年度と比較いたしまして2.4%の減となりました。この内容といたしましては、第2号被保険者の介護納付金に係る社会保険診療報酬支払基金からの交付金で、介護給付費交付金と地域支援事業支援交付金のルール分となっております。

448ページをお願いいたします。

4款県支出金の収入済額は6億6,169万3,743円で、前年度と比較いたしまして0.5%の増となりました。この内容は、介護給付費負担金と地域支援事業交付金のルール分となっております。

6款繰入金は、1項の一般会計繰入金の介護給付費繰入金、地域支援事業繰入金及び事務費繰入金でありまして、6億3,755万4,000円の収入済額は、前年度と比較いたしまして0.5%の増となりました。

450ページをお願いいたします。

7款繰越金の収入済額は7,593万2,987円で、前年度からの繰越金となっております。

8款諸収入の収入済額は593万2,165円で、内訳といたしましては、延滞金が10万6,800円、第三者納付金が76万7,272円、地域支援事業利用収入が498万5,168円、雑入7万2,925円ということで、備考の記載のとおりでございます。

以上で歳入の説明を終わらせていただきます。

続きまして、歳出に移らせていただきます。

454ページをお願いいたします。

1款総務費の支出済額は5,304万9,819円で、主な経費は介護保険料賦課徴収に係る経費及び認定審査会、認定調査等の費用となっております。

3項1目介護認定審査会費は、審査会に係る経費2,312万1,099円で、審査回数は96回、審査件数は3,324件となっております。

456ページをお願いいたします。

2目認定調査費は、認定調査に係る経費1,343万1,792円で、調査件数は3,385件となっております。

458ページをお願いいたします。

2款保険給付費の支出済額は43億9,421万2,157円で、前年度比4,801万9,839円の増で、伸び率は1.1%となりました。保険給付の月平均利用者数は、居宅サービスが1,812人、地域密着型サービスが96人、施設サービスが623人で、合わせて2,531人となっております。

1項介護サービス等諸費は要介護者の保険給付費で、主なものは、1目居宅介護サービス給付費が16億3,764万3,237円かかりました。

2目地域密着型介護サービス給付費は2億8,725万1,074円で、原則といたしまして旭市民が利用できるサービスでございまして、認知症対応型のグループホームと小規模特別養護老人ホーム等が該当いたしております。

3目施設介護サービス給付費は18億409万9,504円で、月平均の施設入所者数は623人となっております。

460ページをお願いいたします。中段になります。

6目居宅介護サービス計画給付費は2億4,751万5,416円で、ケアプランの作成費用となっております。

2項介護予防サービス等諸費は1億103万7,292円で、これは要支援者の保険給付費となっ

ております。

462ページをお願いいたします。下段になります。

3項1目審査支払手数料は364万9,828円で、国保連合会の介護給付費に係る審査支払手数料で、対象件数は7万189件でした。

4項高額介護サービス等費は7,843万156円で、利用者負担が高額になったときに支給するもので、対象件数は7,722件でした。

464ページをお願いいたします。下段になります。

6項特定入所者介護サービス等費は2億506万9,680円で、低所得者対策としての補足給付に係るもので、27年度末における軽減対象者は693人でした。

466ページをお願いいたします。下段になります。

4款基金積立金の支出済額は3,574万9,000円でした。これは前年度剰余金と利息分を積み立てたもので、平成27年度末の介護保険給付費準備基金の残高は1億8,731万1,195円となりました。

468ページをお願いいたします。

5款地域支援事業費の支出済額は5,966万4,630円となりました。この主な事業内容といたしましては、1項1目介護予防二次予防対象高齢者施策事業費の備考欄2番、通所型介護予防事業で414万5,022円となりますが、これは介護予防拠点において、運動器具による機能向上等の予防事業を行ったものでありまして、対象者は延べ319人となりました。

470ページをお願いいたします。中段になります。

2項1目包括的支援事業費の支出済額は2,303万551円で、この事業の主なものは、473ページをお願いいたします。

備考欄3番、総合相談・支援事業の13委託料500万円で、市内五つの事業所に在宅介護支援センター事業を委託したものでございます。

左側の473ページの中段よりやや下になりますが、3項1目任意事業費の支出済額は2,739万3,337円で、主なものといたしましては、備考欄に記載のとおり、1番、家族介護用品給付事業と475ページにちょっと移りまして、3番、配食サービス事業、4番、介護給付費適正化事業等を行ったものでございます。

476ページをお願いいたします。中段になります。

6款諸支出金の支出済額は4,389万4,936円で、主なものといたしましては、1項2目償還金は4,338万9,686円で、26年度保険給付費の精算による国・県、支払基金及び一般会計への

返還金となっております。

以上で歳出の説明を終わらせていただきます。

480ページをお願いいたします。

実質収支に関する調書は、記載のとおりでございますので、詳細の説明は割愛させていただきます。

以上で、議案第4号の補足説明を終わらせていただきます。

○議長（平野忠作） 高齢者福祉課長の補足説明は終わりました。

議案の補足説明は途中ですが、昼食のため、午後1時まで休憩いたします。

休憩 午後 零時 0分

再開 午後 1時 0分

○議長（平野忠作） 休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続き、議案第5号の補足説明を求めます。

下水道課長、登壇してください。

（下水道課長 高野和彦 登壇）

○下水道課長（高野和彦） 議案第5号、平成27年度旭市下水道事業特別会計決算の認定について補足説明を申し上げます。

決算書の説明に入ります前に、公共下水道事業の現況についてご説明申し上げます。

お手元の決算に関する説明資料をお願いいたします。

2ページをお願いいたします。

下水道の状況です。普及率は、行政区域内人口B 6万7,415人に対して、処理区域内人口A6,602人で9.8%となっており、前年度比0.2ポイント増となっております。また、水洗化率は、処理区域内人口A6,602人に対して、使用人口C4,121人で62.4%、前年度比2.2ポイント増となっております。

それでは、決算書によりご説明申し上げます。

決算書の481ページをお願いいたします。

平成27年度の旭市下水道事業特別会計の決算額は、歳入6億4,391万5,359円、歳出5億5,907万6,485円で、歳入歳出差引残額は、486ページでございますが、8,483万8,874円とな

りました。

歳入歳出の決算額の主な内容につきまして、事項別明細書により説明させていただきます。
490ページをお願いいたします。

歳入でございます。

1 款分担金及び負担金は、受益者負担金で、収入済額4,127万9,800円でございます。なお、
収納率は71.9%で、前年度比3.8ポイント増となりました。

2 款使用料及び手数料は、主に1 項1 目下水道使用料で、収入済額9,226万3,161円、収納
率は98.8%で、前年度比0.4ポイント増となっております。

3 款国庫支出金は1,550万円でありまして、管渠建設工事費等に対する補助金で、補助率
は2分の1でございます。

5 款繰入金は3 億5,358万1,000円で、全体事業費から使用料、特定財源等を差し引いた不
足額を一般会計から繰り入れたものでございます。

6 款繰越金は9,739万7,951円で、前年度繰越金でございます。

492ページをお願いいたします。

8 款市債は4,360万円でありまして、建設事業費等に係る地方債でございます。

以上で歳入の説明を終わります。

続きまして、歳出についてご説明申し上げます。

496ページをお願いいたします。

1 款総務費の支出済額は5,460万2,537円で、公共下水道事業に係る人件費及び事務経費で
ございます。

498ページをお願いいたします。

2 款事業費は、支出済額2 億1,688万3,168円でございます。

1 項管理費は1 億5,637万3,331円で、施設維持管理に係る人件費や運転業務委託料、汚泥
等運搬処理業務委託料等でございます。

不用額の3,069万4,669円の主な内容といたしましては、運転業務委託料などの入札執行残
や維持管理費が少なかったこと等によるものでございます。

500ページをお願いいたします。

2 項の工事費は、支出済額6,050万9,837円でございます。主な内容といたしましては、15
節工事請負費の4,895万6,400円で、ロの新田地区面整備工事に伴う管渠建設工事と平成26年
度に面整備工事を実施した箇所の舗装復旧工事等を行ったものであります。

不用額1,254万3,163円の主な内容といたしましては、15節工事請負費の入札による執行残や、502ページになりますが、19節負担金補助及び交付金において、管渠工事に伴う水道管の切り直し工事に係る負担金がなかったことによるものです。

3款公債費は2億8,759万780円でありまして、起債借入金の償還金でございます。内訳といたしましては、元金支払費が2億522万7,958円、利子支払費8,236万2,822円でございます。最後に、504ページをお願いいたします。

実質収支に関する調書であります。記載のとおりでございます。

以上で、議案第5号の補足説明を終わります。

○議長（平野忠作） 下水道課長の補足説明は終わりました。

議案第6号について、農水産課長、登壇してください。

（農水産課長 宮負賢治 登壇）

○農水産課長（宮負賢治） それでは、議案第6号、平成27年度旭市農業集落排水事業特別会計決算の認定について補足説明を申し上げます。

決算書の説明に入ります前に、農業集落排水事業の普及状況について申し上げます。

資料のほうはこちらです。農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算に関する説明資料になります。

2ページをご覧ください。

1の普及状況の全体の表になります。平成27年度の処理区域内人口につきましては、処理区域を見直した結果、平成26年度より132人減少しまして2,177人となりました。使用人口は1,594人で、普及率は73.2%となっております。

それでは、決算書についてご説明いたします。

決算書のほうは、505ページをお願いいたします。

歳入歳出予算額5,524万7,000円に対しまして、歳入決算額は5,535万2,360円で、執行率は100.2%となりました。歳出決算額につきましては4,990万4,319円で、執行率は90.3%となりました。

次に、内容につきまして、事項別明細書によりご説明いたします。

514ページをご覧ください。

歳入です。

1款分担金及び負担金の収入済額42万円は、現年度分の江ヶ崎地区1件で、徴収率は7.8%です。収入未済額498万8,000円のこれは過年度分で、未納件数は、江ヶ崎地区6件、

琴田地区7件となります。

2款使用料及び手数料の収入済額1,774万7,598円は、処理施設の使用料であります。この表にはありませんが、徴収率は98.1%です。収入済額の内訳といたしましては、江ヶ崎地区の現年度分は1,207万7,748円、過年度分は16万3,092円、それから琴田地区の現年度分は548万6,238円、過年度分は2万520円でございます。

3款繰入金の収入済額3,253万1,000円は、全体事業費から使用料などの特定財源を差し引いた不足分を一般会計から繰り入れたものです。

4款繰越金の465万3,762円は、前年度繰越金でございます。

5款諸収入につきましては、ありませんでした。

以上で歳入関係の説明を終わります。

それから、518ページをご覧ください。

続きまして、歳出です。

1款総務費の支出済額は825万4,748円で、農業集落排水事業に係る人件費及び事務経費です。

2款事業費の支出済額2,211万6,453円は、江ヶ崎地区、琴田地区それぞれの処理施設の維持管理費及び資源循環事業費となります。

続きまして、522ページをご覧ください。

3款公債費は、地方債の償還金及び償還利子で、支出済額は1,911万3,118円です。借入れ先は、財務省財政融資資金及び地方公共団体金融機構で、平成27年度末の地方債残高は2億1,389万4,673円です。

4款繰出金の支出済額は42万円です。これは、歳入の受益者分担金を一般会計へ繰り出したものです。

続きまして、524ページをご覧ください。

最後に、実質収支に関する調書ですが、5、実質収支額は544万8,000円です。

以上で、議案第6号の補足説明を終わります。

○議長（平野忠作） 農水産課長の補足説明は終わりました。

議案第7号について、水道課長、登壇してください。

（水道課長 加瀬宏之 登壇）

○水道課長（加瀬宏之） それでは、議案第7号、平成27年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についての補足説明を申し上げます。

初めに、水道事業の概況からご説明申し上げます。

決算書の11ページをお開きください。

事業報告書でございます。

(1) 総括事項、3行目になりますが、平成27年度はロ地区、入野地区等の配水管布設工事等を実施いたしました。

次に、業務状況でございますが、年度末の給水人口は5万7,910人、給水件数は1万9,963件となりました。普及率は85.9%で、前年度と比較しますと0.6ポイントの増となります。年間給水量は575万5,582立方メートルで、前年度と比較しますと2万7,065立方メートルの減となりました。

また、料金収入の基礎となります年間有収水量は556万2,773立方メートルとなり、前年度と比較しますと4万9,856立方メートルの増となっております。

有収率は96.7%で、前年度と比較しますと1.4ポイント増となっております。

建設状況は、建設改良工事としてロ地区、鑓木地区、横根地区、入野地区、岩井地区に口径50ミリメートルから200ミリメートルの耐震型配水管を延べ1,036.6メートル布設しております。

経理状況につきましては、この後、決算状況の中でご説明させていただきます。

前に戻りまして、1ページをお開きください。

平成27年度の決算報告書でございます。

初めに、(1) 収益的収入及び支出について申し上げます。

収入につきましては、第1款水道事業収益の予算額15億3,662万5,000円に対し、決算額16億441万3,687円となり、収入率は104.4%となりました。内訳の第1項の営業収益は水道料金等であり、第2項の営業外収益は一般会計補助金等で、決算額はそれぞれ記載のとおりとなっております。

支出につきましては、第1款水道事業費用の予算額14億5,459万4,000円に対し、決算額14億504万5,720円となり、執行率は96.6%となりました。内訳の第1項営業費用は受水費、減価償却費、人件費等で、第2項の営業外費用は企業債利息等、第3項の特別損失は過年度損益修正損であり、決算額はそれぞれ記載のとおりです。

次に、2ページをお開きください。

(2) 資本的収入及び支出について申し上げます。

収入の部の第1款資本的収入は、予算額1億333万1,000円に対し、決算額は9,147万5,880

円となり、収入率は88.5%となりました。内訳の第1項企業債、第2項出資金、第3項補助金は、主に海上配水場増池工事にかかわるもので、第4項負担金は、消火栓の設置や配水管布設工事などに対する一般会計からの負担金で、第5項は給水申し込み納付金であり、決算額はそれぞれ記載のとおりでございます。

支出の部に入ります。

第1款資本的支出は、予算額2億5,219万6,000円に対し、決算額は1億6,124万7,571円となり、執行率は63.9%となりました。内訳の第1項建設改良費は、海上配水場増池工事などの拡張工事費及び配水管切り回し工事などの改良工事並びに配水場水位計更新工事等の固定資産取得費であり、第2項企業債償還金は、建設改良費等に係る企業債償還元金であり、決算額はそれぞれ記載のとおりでございます。

2ページが一番下の欄外になりますが、資本的収入が資本的支出額に不足する額6,977万1,691円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額451万9,592円、減債積立金5,831万9,503円、過年度分損益勘定留保資金693万2,596円で補填いたしました。

続いて、3ページの損益計算書をご覧ください。

1の営業収益として、2列目の数字になりますが、14億3,293万7,536円、2の営業費用として12億7,846万9,627円、差し引き営業利益は3列目の1億5,446万7,909円となりました。

続いて、4ページをご覧ください。

3の営業外収益として、2列目になりますが、5,742万8,014円、4の営業外費用として1,685万7,958円、差し引きは3列目の4,057万56円のプラスとなり、3ページの営業利益を加えますと、経常利益は1億9,503万7,965円となりました。

6の特別損失は、3列目になりますが、マイナス30万3,280円で、前段の経常利益に加えますと1億9,473万4,685円が平成27年度の純利益となり、当年度未処分利益剰余金は20億1,579万450円となります。

次に、5ページの剰余金計算書をご覧ください。

表の左、資本金の当年度末残高は、一番下になりますが、15億6,061万8,001円となりました。

表の中ほどになりますが、資本剰余金合計欄の年度末残高は12万2,640円となりました。

右から2列目の利益剰余金合計欄の年度末残高は21億5,429万450円となりました。

表の一番右、資本合計は、資本金と剰余金の合計であり、年度末残高は一番右下になりますが、37億1,503万1,091円となりました。

6 ページの剰余金処分計算書をご覧ください。

剰余金処分計算書の内容につきましては、表の右の未処分利益剰余金の年度末残高20億1,579万450円のうち当年度純利益1億9,473万4,685円を、減債積立金に6,293万4,685円、建設改良積立金に1億3,180万円、それぞれ積み立てるものでございます。

次に、7 ページの貸借対照表をご覧ください。

資産の部1、固定資産、次のページの2、流動資産の合計である資産の合計は、一番右の列65億5,906万2,525円となりました。

次に、負債の部ですが、3、固定負債と、次のページになりますが、4、流動負債、5、繰延収益の合計である負債合計は28億4,403万1,434円となりました。

次に、資本の部ですが、6、資本金、7、剰余金の合計額は、次の10ページの下から2行目に記載してあります資本合計37億1,503万1,091円となり、これに前ページの負債合計を加えますと、負債資本合計は65億5,906万2,525円となり、資産合計と一致いたします。

12ページをお開きください。

(2) は議会議決事項であり、内容は記載のとおりでございます。

続きまして、13ページ、2、工事でございますが、(1) は建設工事の概況であり、内容は記載のとおりでございます。

15ページは年間の業務量であり、16ページは事業収入に関する事項、17ページは事業費に関する事項で、それぞれ前年度比較で記載してございます。

18ページになりますが、4、会計(1) は重要契約の要旨でございます。

続いて19ページになりますが、(2) は企業債及び一時借入金の概況で、イ、企業債の概況は記載のとおりでございます。

20ページから21ページまでは、キャッシュ・フロー計算書であり、内容は記載のとおりでございます。

次の22ページから27ページまでは、収益費用明細書であり、科目ごとの明細となっております。

次の28ページは固定資産明細書、続きまして29ページは企業債明細書となっております、内容は記載のとおりでございます。

以上で、議案第7号の補足説明を終わります。

○議長(平野忠作) 水道課長の補足説明は終わりました。

議案第8号について、企画政策課長、登壇してください。

(企画政策課長 横山秀喜 登壇)

○企画政策課長(横山秀喜) 議案第8号、平成27年度旭市病院事業会計決算の認定について
補足説明いたします。

初めに、病院事業の概況から申し上げます。

決算書の15ページをお開きください。

平成27年度事業報告書でございます。

平成27年度も地域の医療機関との協力や連携の強化など、経営の効率化を進めるとともに、地域の皆様に質の高い医療を提供するために取り組みました。特に医薬分業においては、7月から院外処方を開始し、待ち時間の短縮により患者様の利便性向上が図られました。また、より一層の柔軟・迅速な経営を可能とするため、経営形態を地方独立行政法人に移行する準備を進めました。

決算につきましては、当期利益金6億652万1,000円となりました。

次に、業務の状況でございますが、入院患者及び入所者数は、年間延べ35万7,475人、1日平均977人、外来患者及び通所者数は、年間延べ66万959人、1日平均2,714人となりました。

具体的な収支につきましては、決算報告書でご説明いたします。

前に戻っていただきまして、決算書の1ページをお開きください。

決算報告書であります。この決算額につきましては税込み処理で記載しております。

(1) 収益的収入及び支出の収入について申し上げます。

第1款病院事業収益の決算額は359億5,897万1,130円となりました。

収入のうち主なものとしましては、第1項医薬収益の316億5,117万7,848円、第2項医薬外収益の29億2,502万7,733円です。

2ページをお開きください。

収益的支出について申し上げます。

第1款病院事業費用の決算額は353億1,201万1,253円となりました。

支出のうち主なものとしましては、第1項医薬費用の316億4,869万1,477円、第2項医薬外費用の20億6,184万5,654円であります。

3ページをご覧ください。

(2) 資本的収入及び支出の収入について申し上げます。

第1款資本的収入の決算額は1億9,618万8,000円となりました。主なものとしましては、

第1項の企業債の1億9,500万円であります。

4ページをお開きください。

資本的支出について申し上げます。

第1款資本的支出の決算額は40億9,974万9,240円でした。

第1項建設改良費は12億2,511万8,140円で、第2項企業債償還金は28億7,463万1,100円でした。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額39億356万1,240円は、過年度及び当年度分損益勘定留保資金などで補填いたしました。

5ページをご覧ください。

損益計算書ですが、この金額につきましては税抜き処理で記載しております。

1、医業収益は、(1)入院収益から(4)介護保険事業収益までの合計で315億4,909万3,340円であります。

2、医業費用は、(1)給与費から(6)研究研修費までの合計で313億5,693万3,414円であり、差し引きの医業利益は1億9,215万9,926円となりました。

3、医業外収益から次のページの10番、グループホーム事業収益までの合計は40億7,274万9,278円でした。

11、医業外費用から18、グループホーム事業費用までの合計は35億7,072万3,709円でした。

この結果、当年度経常利益は6億9,418万5,495円、純利益は6億652万664円となりました。これに前年度繰越利益剰余金19億4,326万4,323円を合わせた当年度未処分利益剰余金は、25億4,978万4,987円となっております。

8ページをお開きください。

剰余金計算書について申し上げます。

利益剰余金ですが、先ほど損益計算書でご説明したとおり、下から2段目の当年度純利益は6億652万664円で、その下の当年度末残高は25億4,978万4,987円であります。

続く9ページの剰余金処分計算書についてですが、今年度は公営企業として最後の決算となりますので、積立金への処理はいたしておりません。

次の10ページからは貸借対照表になります。

まず資産の部ですが、資産合計は11ページの一番下になります。578億9,142万7,893円となっております。

次の12ページをお開きください。

負債の部であります、負債合計は13ページの上の段にあります。336億7,171万5,901円です。

続きまして、資本の部であります。

7、資本金と8、剰余金を合わせた資本合計は、ページの下から2段目ですが、242億1,971万1,992円となり、これと先ほどの負債合計を合わせた負債・資本の合計は578億9,142万7,893円となりまして、資産合計と一致するものであります。

14ページをお開きください。

こちらのページは会計注記を記載しております。

15ページと次の16ページは、事業報告書でありますから、こちらは冒頭でご説明したものとなります。

17ページの(2)は議会議決事項、次の18ページの(3)は行政官公庁許認可事項となっております。

19ページからは、職員に関する事項を記載しております。

21ページの(5)は、料金その他の供給条件の改定・変更に関する事項ですが、該当はありません。

22ページの2、工事(1)建設改良工事の概況、23ページには(2)保存工事の概況を記載しております。

次に、24ページをお開きください。

3、業務です。(1)に業務量を記載しております。

25ページ(2)は事業収入に関する事項、次の26ページ(3)は事業費に関する事項で、先ほどの損益計算書と同じ内容です。

続きまして、27ページから30ページには、4、会計、重要契約の要旨としまして、(イ)工事請負、(ロ)医療機器等購入、(ハ)ソフト開発費の契約を記載してございます。

31ページをご覧ください。

キャッシュ・フロー計算書になります。

次の32ページの一番下ですが、VI、資金期末残高は97億4,379万7,071円です。

33ページから40ページまでは、収益及び費用明細書で税抜き処理で記載してございます。

41ページは固定資産明細書です。

42ページから最後のページは、企業債明細書となっております。

以上で、議案第8号についての補足説明を終わります。

○議長（平野忠作） 企画政策課長の補足説明は終わりました。

ここで、代表監査委員より平成27年度旭市一般会計及び特別会計ほか歳入歳出決算に関する審査の結果について報告を求めます。

木村哲三代表監査委員、ご登壇願います。

（代表監査委員 木村哲三 登壇）

○代表監査委員（木村哲三） 代表監査委員の木村です。

平成27年度旭市一般会計及び国民健康保険事業特別会計をはじめとした五つの特別会計並びに水道事業、病院事業の公営企業会計の各決算の審査結果について報告いたします。

地方自治法第233条第2項及び地方公営企業法第30条第2項の規定により、各会計の決算について審査を実施いたしました。

審査においては、計数は正確であるか、予算の執行は適正で効率的かつ効果的に行われているか、また、財務に関する事務は関係諸法規に適合しているかなどの諸点に留意し、関係諸帳簿、証書等を照合、精査するとともに、関係職員の説明を求め、さらに例月出納検査、定期監査等の結果も踏まえて、慎重に行いました。

審査の結果、一般会計、特別会計、歳入歳出決算書及び公営企業会計における決算諸表は、いずれも法令に準拠して作成されています。計数については、関係書類と符合し正確でありました。また、予算の執行及び事務処理については、所期の目的に沿って適正になされたものと認められました。公営企業会計の事業運営についても、いずれも健全で効率的な経営であると認められました。

歳入については、全庁的に債権回収に取り組んだ成果が本年度も収納率の向上に表れています。しかし、歳入全体では、依然として多額の収入未済額が生じており、公平性の観点と貴重な自主財源を確保するため、引き続き効果的な収納対策により収入未済額及び不納欠損額の縮減になお一層の努力を求めます。

次に、地方自治法第241条第5項の規定に基づく基金運用状況の審査については、関係書類の計数はいずれも正確で、基金の設置趣旨に沿って適正に運用されているものと認めました。

続いて、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び同法第22条第1項の規定による実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率から成る健全化判断比率及び資金不足比率の審査において、いずれの比率も良好な状態にあり、財政運営が法令等の趣旨に沿って適切になされていることを確認しました。具体的には、実質公債費

比率は9.0%となっており、前年度の9.9%から0.9ポイントの改善が図られています。将来負担比率についても23.1%で、前年度の41.1%から18.0ポイント向上し、早期健全化基準の350%を大きく下回り、良好な状態であると認められました。

また、公営企業の資金不足比率の審査においては、いずれも資金不足額は生じていないため、資金不足比率は算出されず、特に指摘すべき事項はありません。

なお、数値等の詳細については審査意見書に記載したとおりです。

次に、個別の2事業について申し上げます。

まずは水道事業ですが、本年度の損益計算書から経営状況を見ると、当年度純利益は、前年度と比べ16.7%増加しています。営業収支においては、営業利益が前年度と比べ13.0%増加しています。

経営分析表を見ると、企業の収益性を示す総収益対総費用比率は、前年度と比べ2.3ポイント上昇しています。安定性を示す自己資本構成比率では0.9ポイント上昇していて、財政の健全性はおおむね良好と思われれます。損益、財務ともおおむね健全な構造が維持されています。

水道料金は、県内自治体の中でも高額ですが、老朽化した施設の更新や耐震化対策の推進などに今後も継続的な費用負担が見込まれ、値下げは難しい状況です。水道事業を取り巻く環境は厳しさが増していくと予想されることから、公営企業として効率的な経営と収益の確保に努め、今後も健全な経営基盤の強化と安全で良質な水の安定的な供給のため、努力されることを望みます。

次に、病院事業について申し上げます。

業務実績については、入院患者、外来患者ともに増加となっています。超音波診断装置などの各種医療機器を購入し、設備の充実が図られています。薬の処方を院外処方に切り替えたことで、病院での薬の待ち時間が解消され、患者が自由に保険薬局を選べるようになり、患者の利便性の向上が図られています。

現在、病院は、公立病院の責務として不採算医療や高度先進医療等を提供する重要な役割を担っています。それらを支える医師、看護師など医療従事者の確保のための勤務環境の維持改善や先端医療機器などの充実には多額の費用が伴います。これらに対処できる経営が求められたことから、平成28年4月1日から地方独立行政法人へ移行となりました。

旭中央病院は旭市民にとっての宝であり、安定した経営のもと地域医療の核としての役割を果たしていくためには、医師や看護師の充実、また診療単価の増加などによる収益の向上

と併せ、経営状況の分析によりさらなる経費の削減に努め、患者本位のより質の高い医療の提供と経営の効率化・改善に努められるよう望むものであります。

最後に、地方を取り巻く社会環境が厳しい中、合併から10年を経て、国の財政支援の減少が見込まれます。本市における今後のまちづくりの指針となる旭市総合戦略に基づき、毎年続く市人口の減少に対し、若者の雇用を確保し、少子化に歯止めをかけ、将来にわたって住みよいまちづくりに結びつくよう着実な事業の推進を図り、旭市の発展に努力されることを要望して、監査委員の総意といたします。

○議長（平野忠作） 代表監査委員の決算審査報告は終わりました。

続いて、補正予算及びその他の議案について説明を求めます。

議案第9号、議案第11号、議案第12号について、財政課長、登壇してください。

（財政課長 伊藤憲治 登壇）

○財政課長（伊藤憲治） それでは、議案第9号、議案第11号及び議案第12号について補足説明を申し上げます。

初めに、議案第9号、平成28年度旭市一般会計補正予算の議決について申し上げます。

補正予算書をお手元にお願いいたします。

1ページをお開きください。

第1条は、歳入歳出予算にそれぞれ14億4,200万円を追加し、予算の総額を306億1,400万円とするものであります。

2ページと3ページは歳入歳出予算の款項の補正額ですので、説明を省略します。また、5ページと6ページも歳入歳出補正予算の事項別明細書の総括ですので、これも説明は省略しまして、7ページの歳入からご説明いたします。

7ページをお開きください。

歳入について順を追ってご説明いたしますが、事業内容につきましては歳出のところで説明させていただきますので、よろしくご説明いたします。

13款2項2目民生費国庫補助金176万2,000円の追加は、説明欄1 地域介護・福祉空間整備交付金の新規計上によるもので、介護ロボット等の導入に対する補助金であります。

14款2項4目農林水産業費県補助金8,830万2,000円の追加は、説明欄1 畜産競争力強化対策整備事業費補助金の増額によるものであります。

17款2項4目東日本大震災復興交付金基金繰入金5,027万円の追加は、飯岡中学校改築事業などの文部科学省所管事業の完了による国庫支出金の精算に伴う返還金の増によるもので

あります。

18款1項1目繰越金13億円の追加は、留保しておりました繰越金の一部を今回の補正財源として計上するものであります。

8ページをお願いいたします。

19款5項5目雑入166万6,000円の追加は、説明欄1市有物件損害保険金、クリーンセンター一分の計上によるものであります。

以上で歳入の説明を終わります、続いて歳出になります。

9ページをお願いいたします。

2款1項6目財産管理費13億円の追加は、平成27年度決算の確定に伴う剰余金の2分の1相当額を財政調整基金に積み立てるものであります。

12目諸費5,027万円の追加は、国庫支出金である東日本大震災復興交付金の精算に伴う返還金の増によるものであります。

3款2項4目介護保険費176万2,000円の追加は、説明欄1介護ロボット等導入支援事業の新規計上であり、介護サービス事業者による介護ロボット等の導入に対し、補助するものであります。

4款2項1目塵芥処理費166万6,000円の追加は、説明欄1塵芥処理施設運営費の増で、クリーンセンターの車両による物損事故に対する損害賠償金について計上するものであります。

10ページをお願いいたします。

6款1項4目畜産振興費8,830万2,000円の追加は、説明欄1畜産競争力強化対策整備事業の増で、主に畜産経営の生産性や収益性を向上させるための取り組みを支援するもので、財源は全額県費で賄うものであります。

以上で、議案第9号の説明を終わります、続いて、議案第11号及び議案第12号について補足説明を申し上げます。

この2議案は、どちらも財産の取得についてでございます。

まず議案第11号について申し上げます。

恐れ入りますが、裏面のほうをご覧ください。

取得する財産は、消防ポンプ自動車（CD-I型）1台であり、旭市消防団第3中隊第1分団第1部に配備されるものです。

金額は1,982万2,901円、相手方は、東京都台東区浅草橋五丁目4番2号横山ビル、ジーエムいちほら工業株式会社、東京営業所所長、光野元彦であります。

契約方法につきましては、事後審査方式制限付一般競争入札により執行いたしました。

入札の経過を申し上げます。

平成28年7月19日に公告し、8月1日まで入札書の受け付けを行ったところ、8者から入札書の提出がありました。8月2日に開札した結果、予定価格に達し、審査したところ、入札参加資格要件を満たしておりましたので、契約の相手方に決定いたしました。

仮契約の締結日は8月10日、納入期限は平成29年3月3日であります。

なお、予定価格は2,101万6,800円、落札率は94.32%でありました。

続いて、議案第12号について申し上げます。

こちらと同じく裏面をご覧ください。

取得する財産は、小型動力ポンプ付積載車3台であり、旭市消防団第2中隊第5分団第3部、同じく中隊第6分団第2部及び第5中隊第2分団第3部に配備されるものであります。

金額は2,278万3,080円、相手方は、千葉市中央区松ヶ丘町635番地、株式会社清水商会、代表取締役、清水博であります。

契約方法につきましては、事後審査方式制限付一般競争入札により執行いたしました。

入札の経過を申し上げます。

平成28年7月19日に公告し、8月1日まで入札書の受け付けを行ったところ、4者から入札書の提出がありました。8月2日に開札した結果、予定価格に達し、審査したところ、入札参加資格要件を満たしておりましたので、契約の相手方に決定いたしました。

仮契約の締結日は8月10日、納入期限は平成29年3月3日であります。

なお、予定価格は2,285万2,800円、落札率は99.69%でありました。

以上で、議案第11号及び議案第12号の補足説明を終わります。

○議長（平野忠作） 財政課長の補足説明は終わりました。

ここで、午後2時10分まで休憩いたします。

休憩 午後 1時53分

再開 午後 2時10分

○議長（平野忠作） 休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続き、議案の補足説明を求めます。

議案第10号について、生涯学習課長、登壇してください。

(生涯学習課長 高木昭治 登壇)

○生涯学習課長（高木昭治） 議案第10号、旭市使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について補足説明を申し上げます。

お手元にお配りしてあります新旧対照表の1ページをお願いいたします。

海上キャンプ場のバンガローにつきましては、6人用が4棟、10人用も4棟ありますが、使用料は1人1泊当たり500円であります。しかしながら、二、三人でもバンガロー1棟を占有することができ、繁忙期には多くの方が利用するため、非効率的な状況が生じております。効率的に施設を運営するためにも、近隣の施設と同様、使用料を1棟当たりに改正し、6人用を3,000円、10人用を5,000円に改めるものです。

次に、体育館の専用使用の高校生以下1時間当たり400円を650円に改正する理由ですが、市内の体育館施設に合わせて半額とするもので、一般の使用料1,300円に対し、半額の650円に改正するものです。

次に、体育館の多目的ホールについて、使用料の区分を新たに設定するもので、料金は市内の公共施設に合わせ、面積等を考慮した上で1時間当たり500円とするものです。

また、備考欄に1を追加し、デイキャンプを1回当たり4時間以内とする理由ですが、現在、デイキャンプは午前9時から午後9時まで利用できることになっており、繁忙期には宿泊の利用者とデイキャンプの利用者が炊事棟の利用などで重なることが多い状況となっております。宿泊の利用者は、午前9時から午前11時までの間に退場するため、この時間帯は炊事棟が空いている状況です。このため、デイキャンプに4時間以内の制限を設け、昼をまたぐ時間帯にデイキャンプの利用者を多く受け入れ、午後からのデイキャンプの予約は宿泊の利用者と調整が図れるように改正するものです。

以上で、議案第10号の補足説明を終わります。

○議長（平野忠作） 生涯学習課長の補足説明は終わりました。

議案第13号について、環境課長、登壇してください。

(環境課長 井上保巳 登壇)

○環境課長（井上保巳） 議案第13号、和解及び損害賠償の額を定めることについて補足説明を申し上げます。

本件につきましては、平成28年6月16日に匝瑳市栢田7951番地141の相手方倉庫内において、市の一般廃棄物運搬車が荷おろし作業中に倉庫の電動シャッターに接触し、破損させた

物損事故に関し、損害額が決定したことから損害賠償額166万5,813円を支払うべく、議会の議決を求めるものでございます。

なお、損害賠償額につきましては、議案第9号、一般会計補正予算にも計上いたしましたように、全額が損害保険金により支払われますことをご報告いたします。

以上で、議案第13号の補足説明を終わります。

○議長（平野忠作） 環境課長の補足説明は終わりました。

議案第14号について、市民生活課長、登壇してください。

（市民生活課長 大木廣巳 登壇）

○市民生活課長（大木廣巳） それでは、議案第14号、人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて補足説明を申し上げます。

本議案は、人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、議会の意見を求めるものです。

本市の人権擁護委員の定数10名のうち1名が平成28年12月31日に任期満了となるため、後任の委員候補者を法務大臣に推薦するに当たり、議会の意見を求めるものです。

推薦したい方は、旭市米込2265番地にお住まいの熱田みち子氏、昭和21年11月26日生まれの方です。

熱田みち子氏は、平成23年から人権擁護委員として積極的に活動されており、温厚誠実な人柄で地域での信望も大変厚く、委員として適任の方ですので引き続き推薦するものです。

なお、人権擁護委員法第7条第1項の規定による委員の欠格条項につきましては、該当する事項はありません。

また、委員の任期は平成29年1月1日から平成31年12月31日までの3年間となります。

以上で、議案第14号の補足説明を終わります。

○議長（平野忠作） 市民生活課長の補足説明は終わりました。

続いて、報告の説明を求めます。

報告第1号について、学校教育課長、登壇してください。

（学校教育課長 石見孝男 登壇）

○学校教育課長（石見孝男） 報告第1号、平成27年度旭市奨学基金の運用状況についてご報告申し上げます。

初めに、A欄の積み立てですが、運用利息1万6,010円を積み立ててございます。

B欄の基金現在高は、平成27年度末6,750万4,673円となりました。

C欄の返還につきましては、231万1,500円が返済されました。

D欄の貸付残高、これが未返済残高となりますが、27年度末で12人、264万円となります。

E欄の預金残高は、6,486万4,673円となっております。

以上でございます。

○議長（平野忠作） 学校教育課長の説明は終わりました。

報告第2号について、保険年金課長、登壇してください。

（保険年金課長 高木松夫 登壇）

○保険年金課長（高木松夫） 報告第2号、平成27年度旭市高額療養費貸付基金の運用状況についてご報告申し上げます。

表をご覧ください。

初めに、A欄の積み立てですが、本年度はございませんでした。

しいが、B欄の基金現在高は平成26年末と同額の1,000万円であります。

次に、貸し付け等の状況でございますが、C欄の貸し付けをご覧ください。

年度中の貸付件数は22件で、223万6,000円の貸し付けであります。

D欄の返済につきましては、20件で、201万円の返済となっております。

E欄の貸付残高は、2件、22万6,000円となり、F欄の預金残高は、997万4,000円となっております。

以上で、報告第2号の説明を終わります。

○議長（平野忠作） 保険年金課長の説明は終わりました。

報告第3号、報告第4号について、財政課長、登壇してください。

（財政課長 伊藤憲治 登壇）

○財政課長（伊藤憲治） 報告第3号及び報告第4号についてご説明申し上げます。

初めに、報告第3号、平成27年度決算に基づく旭市の健全化判断比率について申し上げます。

この健全化判断比率につきましては、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定により報告するものであります。

表をご覧ください。

まず算定項目1の実質赤字比率であります。これは一般会計に係る実質赤字額の標準財政規模に対する比率でありまして、本市におきましては黒字であったため該当いたしません。

次に、2の連結実質赤字比率であります。これは公営企業会計を含む全ての会計を合計した実質赤字額の標準財政規模に対する比率でありまして、全会計とも黒字であったため、

これも該当いたしません。

なお、これらの二つの指標の括弧書きにつきましては、参考として黒字の比率を表しております。

次に、3の実質公債費比率であります。これは一般会計から公営企業会計、一部事務組合までを含めて、旭市が負担した元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率でありまして、本市は早期健全化基準の25%を下回る9.0%となっております。昨年度の9.9%と比べますと0.9ポイント改善しまして、議会への報告及び公表が義務化されました平成19年度決算以来、8年連続で改善しております。

次に、4の将来負担比率であります。これは一般会計から公営企業会計、一部事務組合、第三セクター等までを含めて、旭市が将来負担する実質的な負債の標準財政規模に対する比率であります。本年度は23.1%で、昨年度の41.1%と比べて18ポイント改善し、早期健全化基準の350%を大きく下回っております。

以上のとおり、平成27年度決算に基づきます健全化判断比率につきましては、4指標とも基準をクリアいたしましたが、これで安心することなく、これからも財政の健全性確保に努めてまいりたいと考えております。

以上で報告第3号の説明を終わります。続きまして、報告第4号、平成27年度の旭市公営企業決算における資金不足比率について説明申し上げます。

この資金不足比率につきましては、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定により、報告するものであります。

表をご覧ください。

平成27年度の旭市の資金不足比率については、資金不足が生じた公営企業はありませんので、全て該当いたしません。なお、括弧書きにつきましては、参考として資金剰余比率を表したものでございます。

以上のとおり、平成27年度は全ての公営企業会計において経営健全化基準をクリアいたしました。一般会計と同じく公営企業につきましても、引き続き財政の健全性確保に努めてまいりたいと考えております。

以上で、報告第4号の説明を終わります。

○議長（平野忠作） 財政課長の説明は終わりました。

報告第5号について、企画政策課長、登壇してください。

（企画政策課長 横山秀喜 登壇）

○企画政策課長（横山秀喜） 報告第5号、株式会社季楽里あさひの平成27年度の事業経営状況及び平成28年度分の事業計画について、地方自治法第243条の3第2項の規定によりご報告申し上げます。

初めに、平成27年度事業報告でございます。

お手元の資料では、経営状況報告書第1期と表紙に明記されております。

1ページ目をご覧ください。

1、営業報告書の（1）概況でございます。

この会社が指定管理者制度により運営する道の駅季楽里あさひは、平成27年10月17日に開業し、その後多くの方にご利用いただいております。今期の営業成績は、集客数が約58万8,000人、総売上額が2億9,700万円で、当期の純利益は716万3,903円となっております。税込みの売上金額は3億2,100万円となります。

2、会社概要の（1）株主の概要についてです。設立時の株式数、株主数は変わっておりません。

（2）株主総会及び取締役会等の開催状況については、ご覧のとおりおおむね月1回の頻度で取締役会または役員会を開催し、集客向上に向けた各種の対策など、健全な経営に向けた協議を行っております。

続いて、2ページになります。

（3）及び（4）は、それぞれ平成28年3月31日現在の役員及び従業員の状況です。

（5）決算期後に生じた会社の状況ですが、①から⑨に記載したとおり、利用者の拡大に向けた各種の取り組みを展開しております。

続いて、3、決算報告書についてです。

第1期、平成27年4月10日の会社設立日から、平成28年3月31日の決算について報告いたします。

会社の取り扱い商品はほとんどが委託販売の商品であります。決算については、国税の基本通達の特例を適用して決算処理してあります。これは簡単に申し上げますと、出荷者からの委託販売の金額を売上高として計上するものでございます。

4ページをご覧ください。

貸借対照表です。

左側の資産の部は流動資産で、現金や預金などの計で8,784万5,765円です。右側の負債の部は流動負債で、買掛金や未払費用、未払法人税などで、負債の部計が3,668万1,862円、そ

の下の純資産の部は、株主資本で、資本金が4,400万円、利益剰余金が716万3,903円でありまして、純資産の部計が5,116万3,903円となり、一番下の負債・純資産の部の計が8,784万5,765円となりました。

続いて5ページ、損益計算書になります。

この数字は消費税を抜いたものです。売上高が2億9,728万176円、売上原価が2億2,899万1,324円となりまして、売上総利益が6,828万8,852円です。販売費及び一般管理費は6,241万4,998円で、営業利益が587万3,854円です。また、営業外収益は312万9,200円、営業外費用は4万6,751円です。そして、経常利益が895万6,303円となり、一番下の当期純利益が716万3,903円となりました。

続きまして、6ページは、販売費、一般管理費の内訳となります。

7ページは、株主資本等変動計算書です。

資本金は設立時の4,400万円、利益剰余金となる当期純利益が716万3,903円、合わせまして純資産の合計が5,116万3,903円です。

続きまして、8ページです。

4、第2期事業計画、平成28年度分です。

基本方針におきまして、(1)道の駅物販・花木部門、(2)道の駅レストラン部門、(3)加工室の積極的活用、(4)営業に分かれていまして、内容はそれぞれ記載のとおりでございます。一番下の平成28年度のスローガンは、「売上6億円」、「集客100万人」を目指せとしております。

9ページでは、平成28年度に計画する予算を計上しております。なお、こちらの数字は1,000円単位となっております。

左側の前年度実績は、ただいま説明させていただいたとおりであります。

右の予算額をご覧ください。

売上高の計が5億5,555万6,000円で、税込みでは6億円とするものです。

売上原価の計が4億2,945万9,000円は、売上総利益は1億2,609万7,000円となります。

販売費及び一般管理費の計が1億1,800万円、差し引きますと営業利益は809万7,000円です。営業外収益の計が11万5,000円、経常利益は821万2,000円、法人税等が164万3,000円であり、一番下の平成28年度株式会社季楽里あさひの純利益は656万9,000円となっております。前年度よりも純利益が少なくなっておりますが、これは前年度に営業外収益の雑収入318万8,000円があったためです。

以上で、報告第5号、株式会社季楽里あさひの平成27年度事業経営状況及び28年度の事業計画についての報告を終わります。

○議長（平野忠作） 企画課長の説明は終わりました。

報告第6号について、行政改革推進課長、登壇してください。

（行政改革推進課長 浪川 昭 登壇）

○行政改革推進課長（浪川 昭） それでは、報告第6号、私債権等の放棄についてご説明申し上げます。

この私債権等の放棄は、旭市私債権等管理条例第7条第1項の規定に基づき、平成27年度に放棄した私債権等の内容を同条第2項の規定により議会へ報告するものです。

2枚目の表に放棄した3種類の債権について、放棄した事由と件数、金額を掲載しております。

内訳といたしまして、市営住宅家賃が2件で45万4,500円、水道料金が46件で46万7,208円、旭中央病院診療費が609件で1,909万3,439円、全体としては657件で2,001万5,147円の債権を放棄いたしました。

以上でございます。

○議長（平野忠作） 行政改革推進課長の説明は終わりました。

以上で、議案の補足説明及び報告の説明は終わりました。

○議長（平野忠作） 以上をもちまして本日の日程は全部終了いたしました。

これにて本日の会議を閉じます。

なお、本会議は5日定刻より開会いたします。

大変ご苦労さまでした。

散会 午後 2時36分